



神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和3年10月15日

10月号

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

「本物を繋ぐ」

校長 山内 清一

10月9日（土）、今年度の文化発表会（合唱コンクール、吹奏楽部・演劇部発表）を開催しました。緊急事態宣言が解除されましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、当日は生徒以外の鑑賞は保護者のみ、学年入れ替え制で実施させていただきました。362名の保護者の皆様に杉並公会堂までお越しいただきました。改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、今回は「本物（質の高い物）」について考えてみます。昭和20年代、兵庫県神戸市の灘中学校・高等学校の国語の授業で「銀の匙（さじ）」（著：中 勘助）という東京朝日新聞に掲載された小説が教科書として使われたことで以前話題になりました。この小説は、主人公が本棚の引き出しにしまってあった小箱の中にある銀の匙を見つけたことをきっかけに、子どものころの叔母の愛情に包まれた自分の生活を思い返すという内容の自伝小説です。子どもから大人へと成長していく過程の物語なので、生徒は自分の経験と主人公の気持ちを重ね合わせながら読み進めることができました。また、夏目漱石が「きれいな日本語」と褒めたほど、美しい文章で書かれていて、日本語の勉強にはもってこいの小説でした。そこで、この本を読み、そこに巧みに描かれている生活の様子や使われている言葉を自分で調べ、同じように体験させることで「本物（質の高い物）」を学ばせ、深く掘り下げて考えさせるような授業を行いました。

ベストセラーになった「声に出して読みたい日本語」の著者で明治大学文学部教授の齋藤孝さんも、この著書の中で「銀の匙」を紹介し、「本物」を徹底的に吸収することが、その後のすべての基礎をつくることになると解説しています。

本校の合唱コンクールはどうだったでしょうか。生徒実行委員を中心に伴奏者・指揮者・パートリーダーが協力し、学級全体の練習やパート練習、歌の表現方法について生徒自らが指示を出し、自分たちの合唱を表現しよとする姿勢を見ることができました。コロナ禍の中感染防止に努めながら、準備や練習の段階では思うようにいかないこともありましたが、どの学年のどの学級も困難を乗り越え、それまでの練習の成果を発揮し、素晴らしい合唱コンクールを創り上げてくれました。特に3年生は、1・2年生の模範となる質の高い「本物」の合唱を聴かせてくれました。「本物」を創り上げ、聴かせる伝統をこれからも繋げていって欲しいと思います。

《10月のアルバム》

《文化発表会》 10月9日（土）



《生徒総会》 10月15日（金）



【11月の予定】

11/6	（土）	～8（月）	中学連合文化祭	18	（木）	期末考査（理・数・技家）
6	（土）		サタスタ（10時～12時）	19	（金）	期末考査（英・音・保体）
13	（土）		サタスタ（10時～12時）	20	（土）	土曜授業（3時間）
17	（水）		期末考査（国・社・美）			